

令和6年度  
古賀市まちづくり基本条例に関するアンケート  
《調査結果》

令和6年9月  
まちづくり推進課

調査期間：令和6年6月20日（木）から令和6年7月22日（月）まで

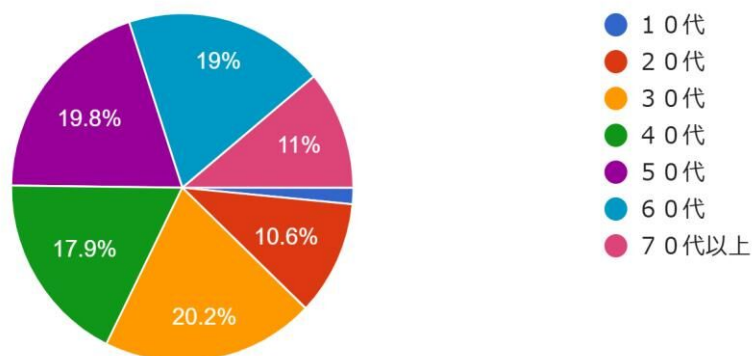
調査対象：古賀市在住の1,000人

（18才～20代、30代、40代、50代、60代～74才の男女各100人を無作為抽出）

有効回答：268人（うち、Web回答123人、郵送回答145人）

問1（1）．あなたの年齢についてお尋ねします。

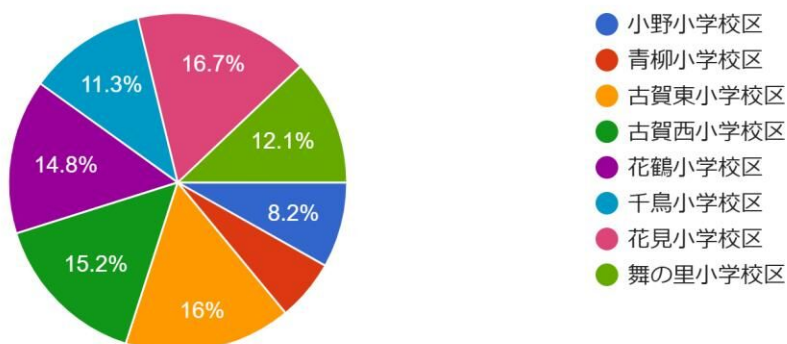
263件の回答



回答者は10代から70代以上であり、20代以上では大きな差異はなく、おおむね均等に回答を得ることができた。

問1（2）．あなたのお住まいの小学校区についてお尋ねします。

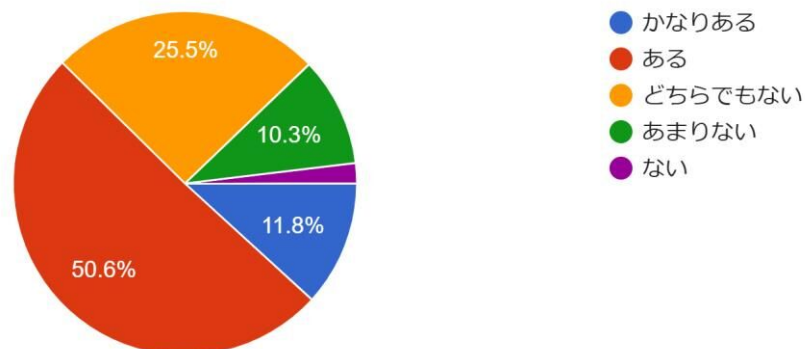
257件の回答



回答者の居住地は8校区に極端な偏りがなく、おおむね均等に回答を得ることができた。

問2. あなたは古賀市のまちづくりに関心がありますか。

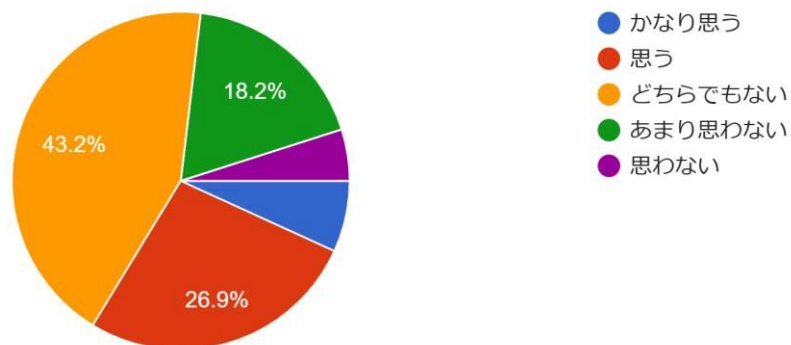
263 件の回答



まちづくりに対する関心については、「かなりある」「ある」と回答した人が約 60%に上り、まちづくりへの関心は高いことが分かった。

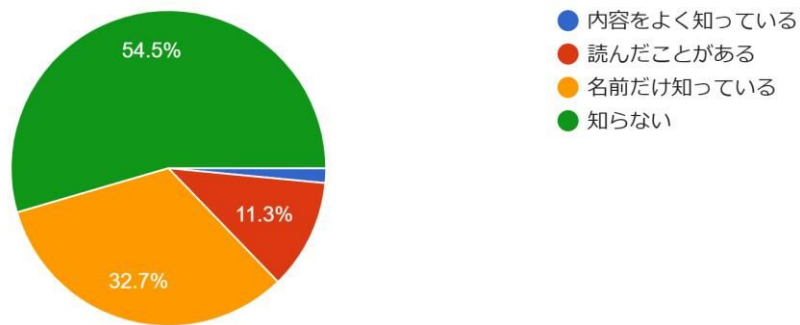
問3. あなたはまちづくりに積極的に参加したいと思えますか。

264 件の回答



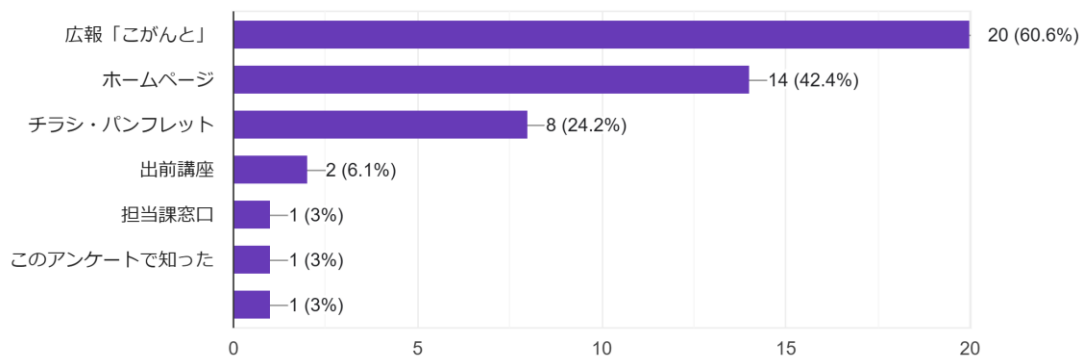
まちづくりへの関与については、「どちらでもない」「あまり思わない」「思わない」と回答した人が約 70%に上り、まちづくりへの関心はあるものの積極的な関与はしたいと思わない人が多いことが分かった。

問4. 「古賀市まちづくり基本条例」を知っていますか。  
266 件の回答



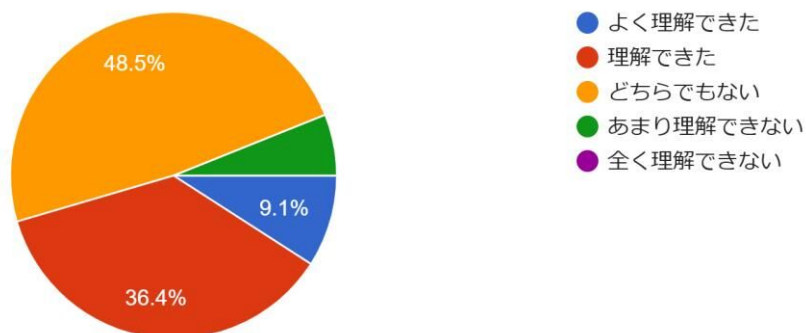
古賀市まちづくり基本条例について、「名前だけ知っている」「知らない」と答えた人が約 90%に上り、条例の認知度は極めて低いことが分かった。

問4 (1). 「古賀市まちづくり基本条例」をどのように知りましたか。(複数回答可)  
33 件の回答



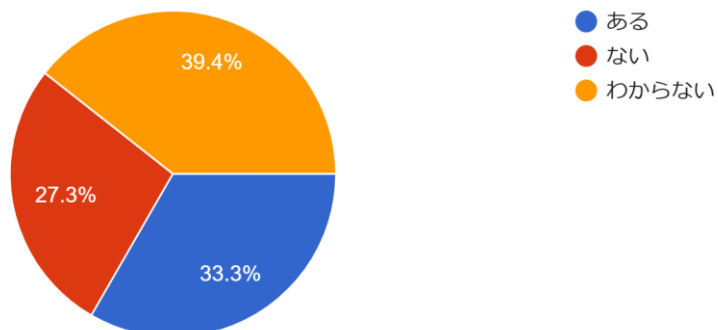
古賀市まちづくり基本条例を認知する手段として、広報紙（広報こがんと）、公式ホームページで知ったと答えた人が多くみられた。

問4（2）．あなたは「古賀市まちづくり基本条例」の内容が理解できましたか。  
33件の回答



まちづくり基本条例の内容について、「よく理解できた」「理解できた」と「どちらでもない」「あまり理解できない」の割合は、ほぼ同じく約50%であった。

問4（3）．「古賀市まちづくり基本条例」に興...は、次のページにてその内容をご記入ください。  
33件の回答

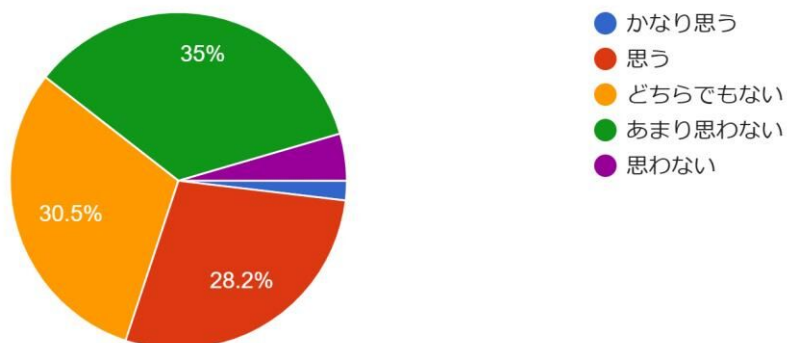


まちづくり基本条例に対する興味は、約3分の2が「ない」「わからない」としており、条例の内容は理解できるが興味は湧かないということが分かった。

「古賀市まちづくり基本条例」に興味・関心を持った内容を記入してください。
心豊かな子供たちが育つ、安全で安心なまちをつくりのところです。
相互に連携、対等の立場、共に支えあう、市長は公正、行政は情報を積極的に発信、市民等の意見を広く聴く機会が充実、行政は要望又は提言等を受けたときは適正かつ公正に対応、等など記載がありますが行政としてそのようにされているのでしょうか？
住民投票とか意見わかれるものはしたほうが良い
校区コミュニティ
なにをしたいのかわからない、ムダ
商店が増えるか
人口減少、少子高齢化
役割
心豊かな子供たちが育つ、安全で安心して暮らせるまちづくり
あるが表題の下に記載してあるわずかばかりの説明では関心の持ちようがなかった
歩道に草が生えている
安全で安心して暮らせる町
住民説明会
ずっと住み続けたい
これからもずっと住み続けたいと誇れるまち
古賀市の発展

問5. あなたは市から市民への情報提供が十分に行われていると思いますか。

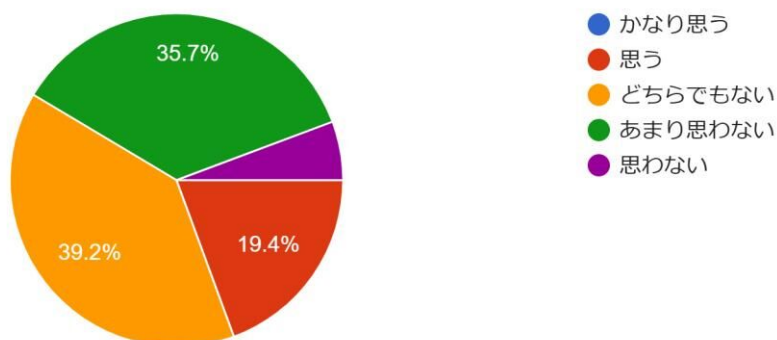
266 件の回答



市からの情報提供について、十分に行われていると思っている人は約 30%にとどまっていることが分かった。

問6. あなたは市民参画及び共働によるまちづくりが十分に行われていると思いますか。

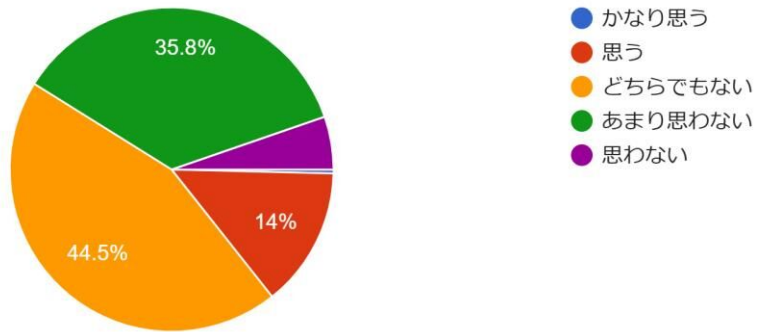
263 件の回答



市民参画及び共働によるまちづくりが十分に行われていると思う人は、約 20%であり、約 80%の人は十分に行われていないと考えていることが分かった。

問7. あなたはまちづくりに市民の意見が十分に反映されていると思いますか。

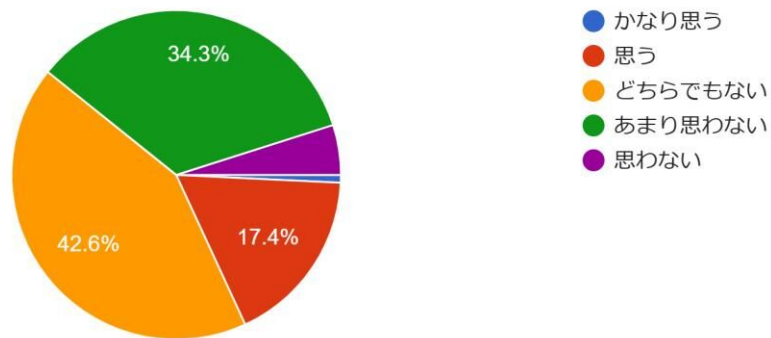
265 件の回答



まちづくりに市民の意見が十分に反映されていると思う人は、約 15%であり、多くの人が市民参画及び共働によるまちづくりが十分に行われていないと考えていることが分かった。

問8. あなたは市民参画の機会が十分に用意されていると思いますか。

265 件の回答

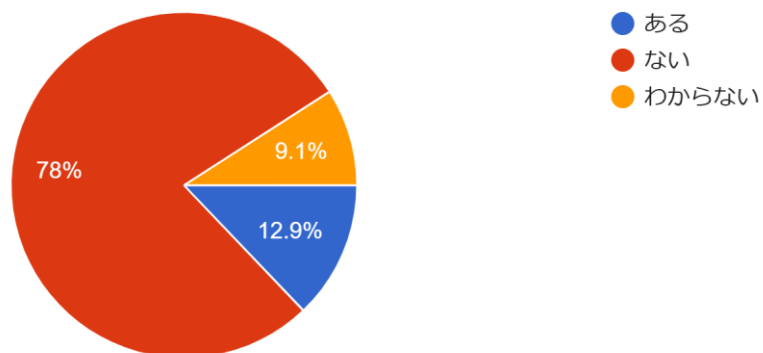


市民参画の機会が十分に用意されていると思う人は、約 18%であり、多くの人が市民参画の機会が十分でないと考えていることが分かった。



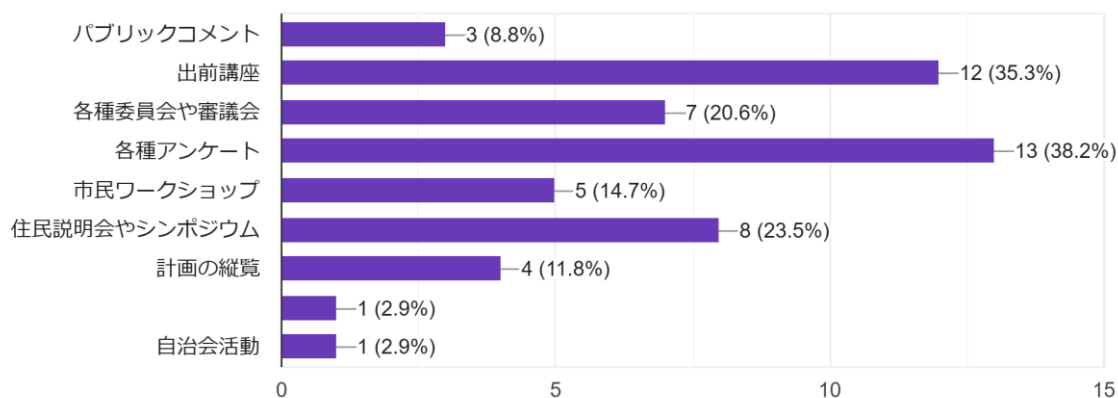
問9. あなたはまちづくりへの市民参画に参加したことはありますか。

264件の回答



問9(1). あなたが参加したことがある市民参画の方法はなんですか。(複数回答可)

34件の回答

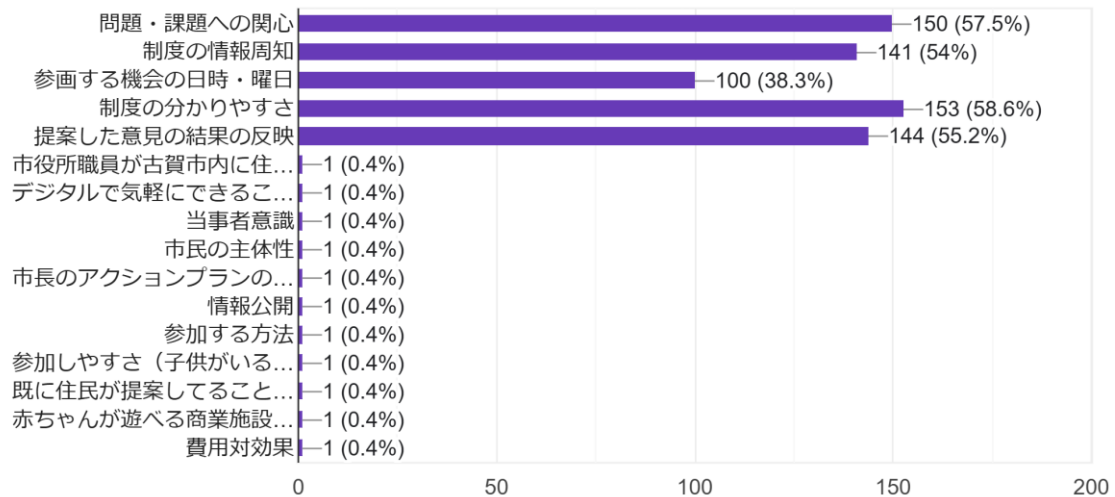


市民参画に参加したことが「ある」と答えた人は約13%であり、大半の人が参加したことがないことが分かった。

また、市民参画の方法は、「各種アンケート」「出前講座」「住民説明会やシンポジウム」の順に多く、「パブリックコメント」への参加は比較的少ないことが分かった。

問10. あなたが市民参画をするのに重要だと思う...なんですか。（上位3つを選んでください。）

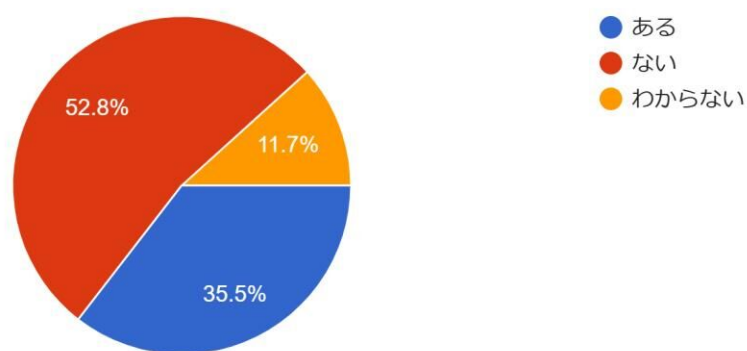
261件の回答



市民参画をするのに重要だと思うことは、「制度の分かりやすさ」「問題・課題への関心」「提案した意見の結果の反映」「制度の情報周知」の順に多く、「参画する機会の日時・曜日」も重要であると考えていることが分かった。

問11. あなたは地域活動や共働による取組に参加したことがありますか。

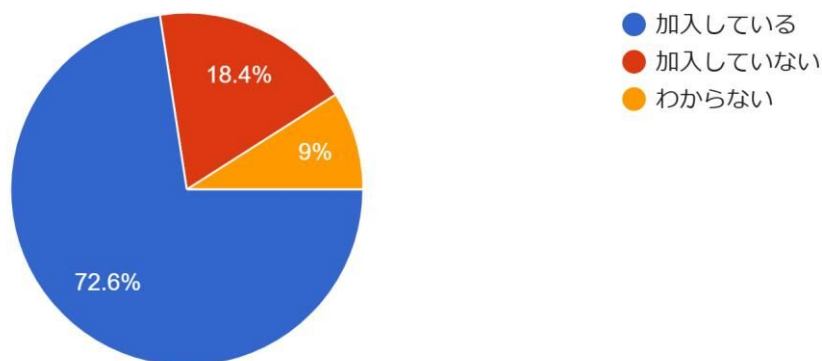
265件の回答



地域活動や共働による取り組みへの参加の状況は、参加したことが「ある」と答えた人が約35%であり、約3分の2の人が地域活動や共働の取り組みに参加していないことが分かった。

問12. あなたは現在、「自治会」に加入していますか。

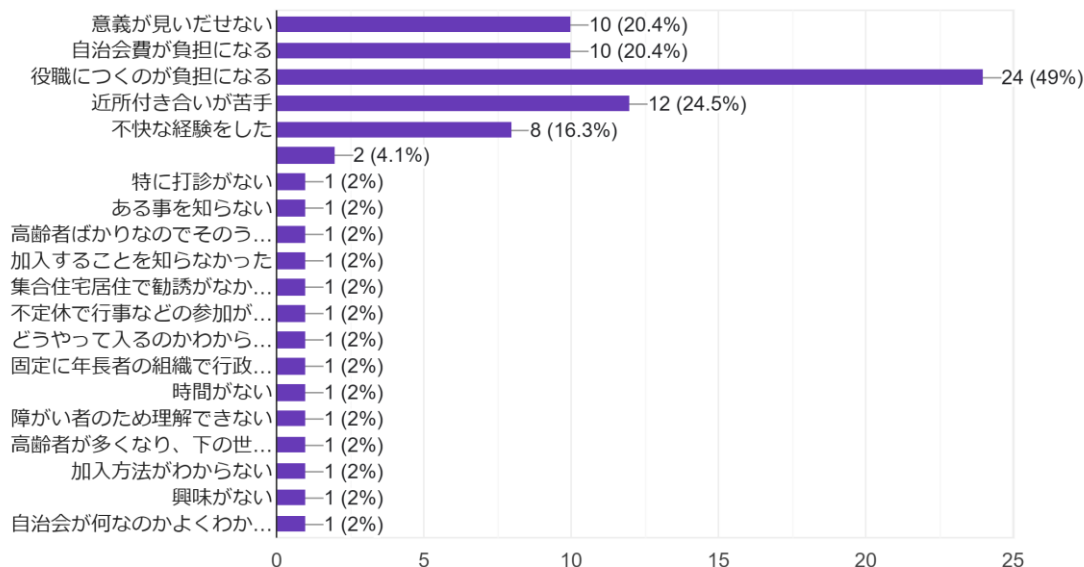
266 件の回答



自治会の加入状況については、加入している人が 72.6%であり、「令和5年度自治会に関するアンケート調査（令和6年3月）」の調査結果 69.1%と近似している。

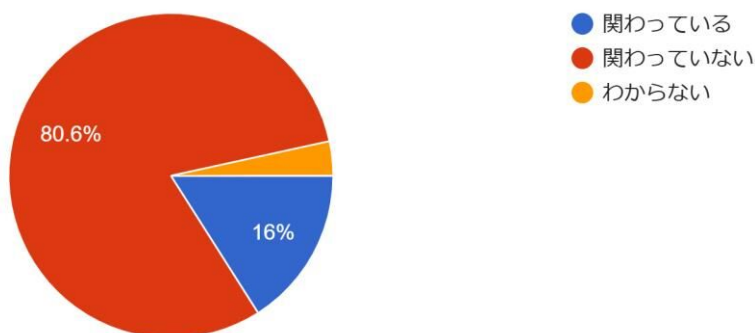
問12(1). 加入していない理由を教えてください。

49 件の回答



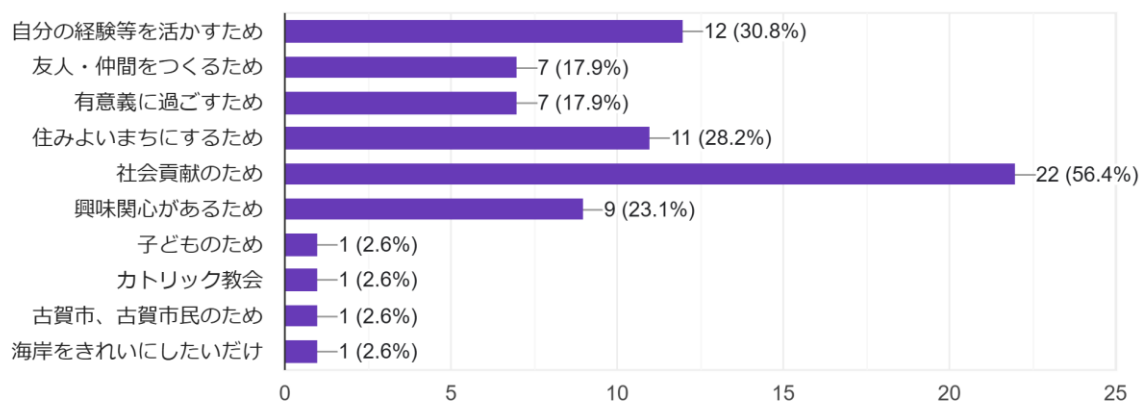
自治会に「加入していない」理由としては、「役職につくのが負担である」と答えた人が突出して多く、「近所付き合いが苦手」「意義が見いだせない」「自治会費が負担になる」との理由が続くことが分かった。

問13. あなたは現在、「ボランティア活動・市民活動団体」に関わっていますか。  
263件の回答



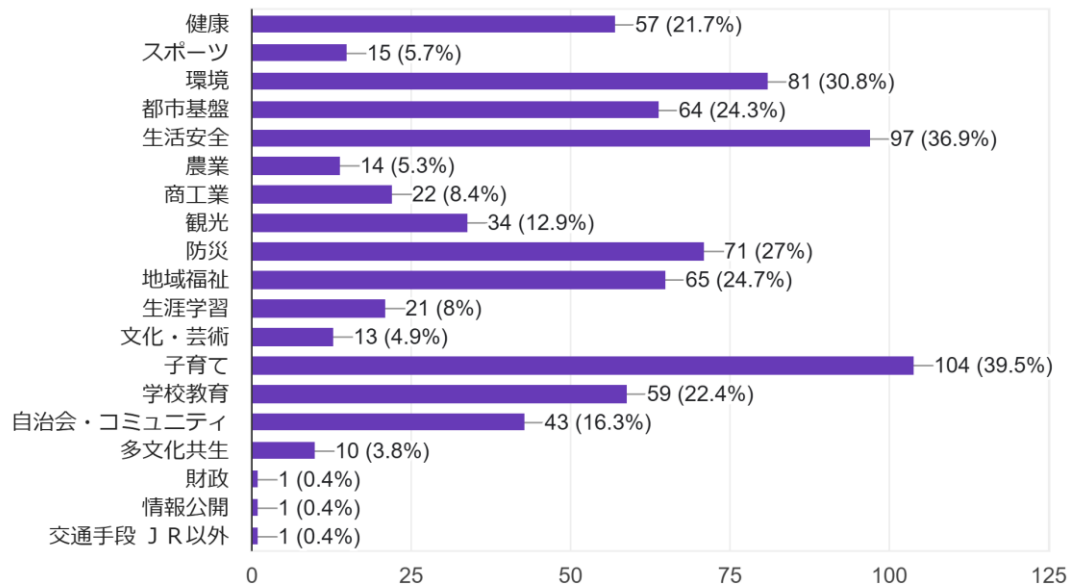
ボランティア活動・市民活動団体に「関わっている」と答えた人は16%であり、大半の人が関わっていないことが分かった。

問13(1). 関わっている理由を教えてください。  
39件の回答



「関わっている」と答えた人の理由は、「社会貢献のため」が突出して多く、「自分の経験等を活かすため」「住みよいまちにするため」の順に多かった。

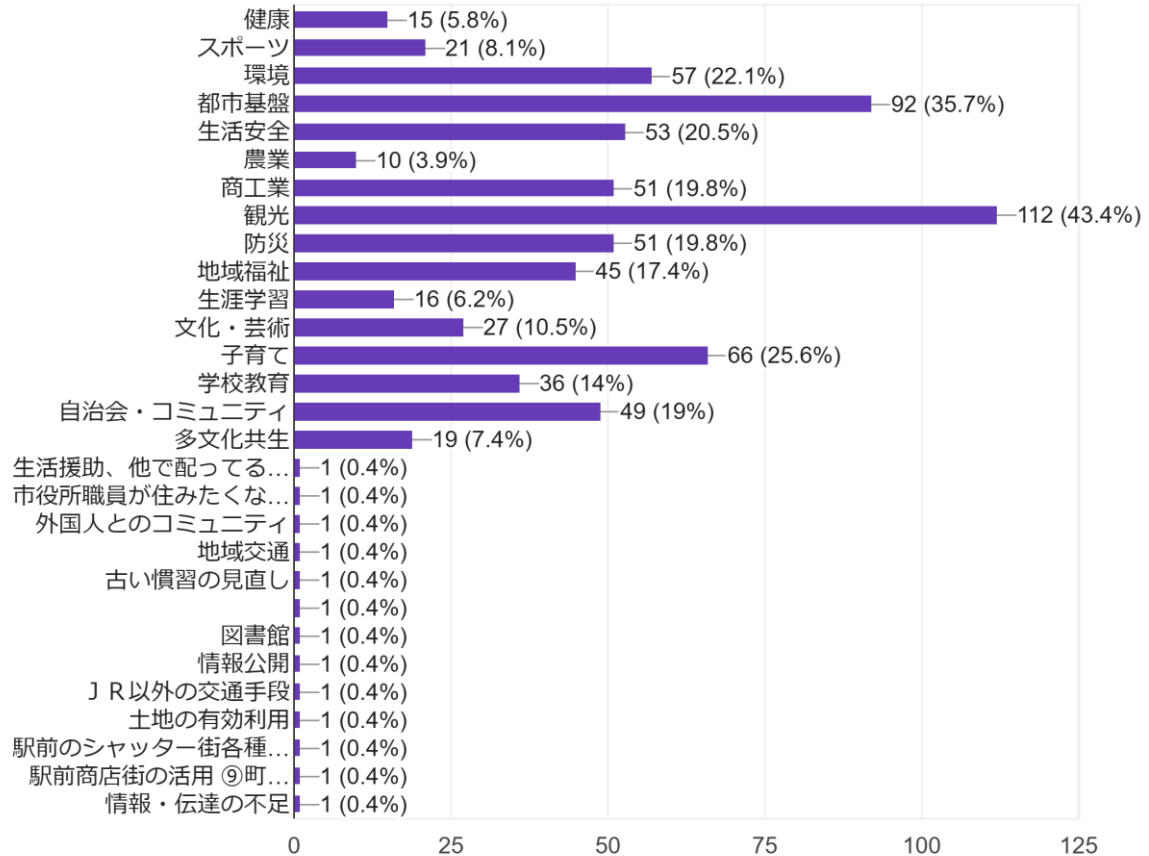
問14. あなたが今後重要になると思う「共働・市...はどれですか。（上位3つを選んでください）  
263件の回答



今後重要になると思う「共働・市民参画」の分野についての問いに対し、「子育て」「生活安全」「環境」と答えた人が多かった。次に「防災」の順となっている。

問15. 現在の古賀市のまちづくりにおいて不足し...はどれですか。(上位3つを選んでください)

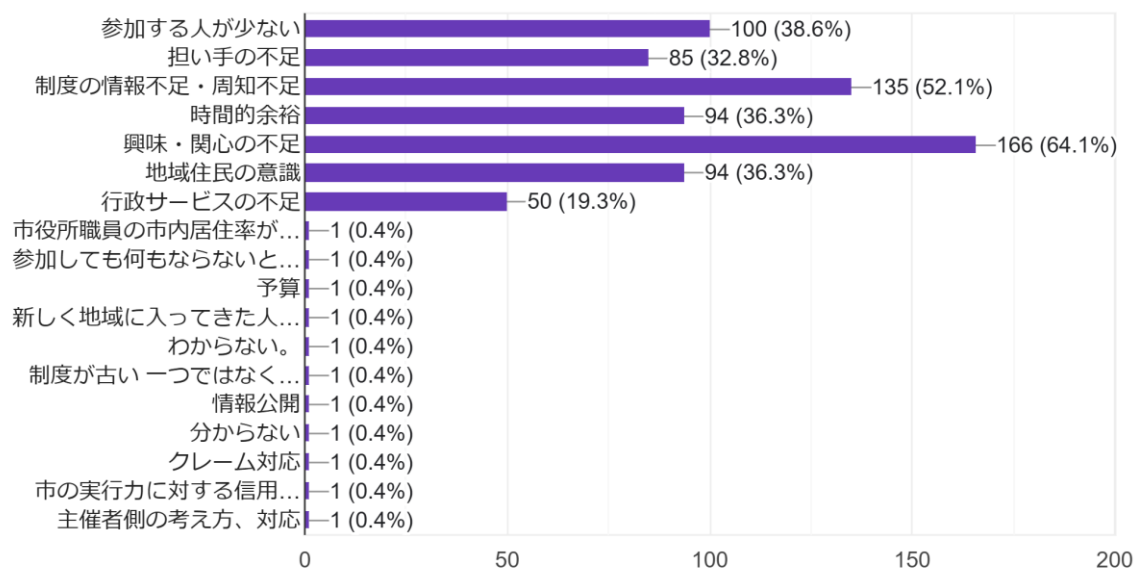
258件の回答



現在の古賀市のまちづくりにおいて不足していると考える項目は、「観光」が多く、「都市基盤」「子育て」と続くことが分かった。

問16. 市民参画や共働のまちづくりを進めるうえ...はどれですか。(上位3つを選んでください)

259件の回答



市民参画や共働のまちづくりを進めるうえで問題となる点は何かという問いに対し、「興味・関心の不足」が多く、「制度の情報不足・周知不足」「参加する人が少ない」の順で続くことが分かった。

問17. 市民参画や共働のまちづくりを進めるためのあなたアイデアを教えてください。(自由回答)
まずは生活の安定、生きていく事で精一杯なのに、そんな事に時間を使えない
ともに、古賀市で暮らす職員とまちづくりをしたい。
地域活動は特定の人が頑張って成り立っていると感じている。また参加者もほぼ同じような人となっている。どうしたら活動する人また参加する人を増やせるのか、地域として大きな課題である
古賀市役所付近中心に考えるのではなく、古賀市全体の事を考えて欲しい
住民説明会等でズーム等を使用した中継やオンデマンド配信があるといい。
参加機会増、周知方法増
駅周辺に魅力的な施設がないので、再開発に力を入れて欲しい
デジタルを活用し、働く世代が気軽に参画できるようにする。具体的にはこのようなまちづくりのアイデアを広く公募したり、実際に何が足りないのか予算はどこから持ってくるのかなど話し合う場をオンラインで持つ。
排他的な空気の緩和。
市内を分断しない取り組み。
古賀市は、ほぼ何もない。高齢者中心の街と長年思ってきましたが、最近は少しずつ変わってきているように思います。先日、定員400名のさかなくんの講演会会場へ行きました。外には定員をはるかに超え、2000人位は並んでいたでしょうか。子供を中心に、両親と祖父母で並んでいるのを多く見かけました。古賀市も子供から高齢者を引き連れられるような場所やイベントがあると良いと思いました。古賀市には、子供でも分かりやすい言葉で発信して欲しいと思います。また、毎年あるイベントもコンビニの商品のようにリニューアルしたりして欲しいです。まずは、さかなくんを呼んでみて下さい。
駅周辺を開発して欲しい。もっと活気ができるように！！
子供達が勉強できる安全な場所を、駅に作ってほしい。
このような形のアンケートで色々答えてもらおうと良いと思う。
保育園の利用時間、病児・病後児保育の拡充(利用時間を拡大して欲しい)。育休の人、専業主婦の人が気兼ねなく保育園等を利用できる雰囲気作りをして欲しい(育休当時、利用できると知っていたが、利用しずらくて一時保育を利用することはなかった。無料チケットの配布などあると一歩踏みだしやすい)。
中学部活において、働き方改革はわかりますが、子ども達の活動に制限「部活の時間など」がかかっており、地域差がありモチベーションが下がっています。高校とのギャップもあります。ただ時間を減らすだけでなく、外部コーチを整備するなど、ケアをしていただきながら移行していただけるといいと思います。また、意見を聞いていただける場があるといいと思います。
他地域での成功事例を参考に(視察など)
観光について、古賀には何かある？何もないと思わせてしまっているのは何故？
古賀にはたくさん良い場所、事、物ありますよね？YouTubeであがっているものもありますが、店、場所等、紹介だけで終わっているものに魅力は感じない
ふーんで終わってしまう場所に足を運ぼうとおもいますか？
祭りをすれば人が集まるのであればそれだけ魅力的な事、物等があれば何もない場所も素敵な観光所になるのではないのでしょうか？！
行政の積極的な関わりが不可欠



<p>古賀市はあまり観光地がないので、どこか人が集まりたくなるような場所を作ってははどうでしょうか。学生の方から、子連れの子親子、友人同士でも、外国の方も来たくなるような場所です！</p> <p>若い世代が関心や興味を持てる内容で発信をしていく。たとえ市民参画などに参加したくても時間的余裕や他人と接することが苦手な人もいるのでそういう方達のためにもインターネットなどで参加できるようになれるといい。興味が持てるような内容で回覧板や公共施設などでQRコードなど設置。</p>
<p>市民への教育。社会問題が自分ごとであることに気づかせる</p>
<p>買い物やスポーツ娯楽などが、よその町に行かなくても古賀市内だけで十分楽しめるような施設があるといいなと思います。</p> <p>又快速が停まる古賀駅なので、古賀駅の商店街を全面的にもっと魅力的にリニューアルしてほしい</p>
<p>古賀市は地元民が多く、他所から来たものには疎外感がある。良いことだとは思いますが地元の暖かさを押しだしていくなら、子育て世帯でもないよそ者には興味が無い（お互い）。古賀市についてもっと広報やチラシ、SNS等で教えてくれたらいいなと思う。どんな歴史を辿ってきたのか、どんな土地開発がされてきたのか、どんな行事があって行事の歴史、意図は。まちづくりに参加したいと思う為には、まずこの先も古賀市に住みたいと思いたい。その為には古賀市を知りたいと思う。何度も繰り返し読めるように、もっとSNSを活用してほしいと思う。</p>
<p>各地域住民での環境の差が有り、自分の住む地域が活性出来れば良いとの考えが有るのではないのか。行政として、活性出来る地域を指定し、誘致をして税収を増やさないと古賀市の未来は無い。</p>
<p>駅及び駅周辺の早期発展</p>
<p>暗い道への街灯設置。</p>
<p>自治会の会費が高すぎる。高いわりには掃除ばかりさせられて恩恵がない。なぜ会費を払って掃除をしなくてはいけない？</p> <p>そして共働き世帯が増えてきたのに自治会の行事が多く、仕事の調整が難しいので組合に入る人もいなくなるのでは？</p> <p>昔の伝統を守っていくことも大事だが、今の時代にアップデートして無駄なものを省いてほしい。コロナ禍であれだけ省くことができたのだから、何かしら省くことは可能だと思う。</p> <p>自治会費を委託業者にあてて掃除にまわしてほしい。本当に負担です。</p> <p>今ではなく、10年後20年後をみてはどうでしょうか？</p>
<p>参加者に特典をつける。全員でなくても、優れたアイデアを出せた人など限定する。または参加者に対して税金控除等のメリットを付加する。</p>
<p>放置自転車(盗難)、河川へのゴミ捨てなどマナーが良くないへの積極的な対処(治安の改善) 、一方、古賀海岸の清掃、通学路の交通整理、ゴミ拾いなどされている方がおり、素晴らしい、こういう取り組みをどんどん支援していくことで街が良くなると思う</p>
<p>このアンケートそのものが枠組みが大きすぎて答えにくいと思いました。</p> <p>市民参画やまちづくりを知っていますか？というアンケートは必要でしょうか。</p> <p>それよりも、最初のどの校区に住んでいるかという問いから質問をどんどん広げていけば自ずとその校区の問題点や改善点がわかりそうです。</p> <p>山側に住んでいる方海側に住んでいる方望むものが違うと思います。古賀市全体の事を把握できてないのでそれぞれが普段使っている生活道路や場所、お店、施設の安全や改善、快適さを求めるような回答を導けるアンケートが良いのかなと思いました。</p>

SNSの活用。硬い雰囲気ではなく、一般人にとって魅力的かつユーザーフレンドリーなデザインとする。

イベント等を活用した市民への周知。知れば興味がある人はたくさんいると思うが、正直なところ、まちづくりがどんなことか、古賀市がどんな活動をしているのかイメージがつかない。

情報共有

商工会の物産展を季節毎にやって欲しい。

不燃物の収集の充実した環境が欲しい。

駅前開発。工場があり、大型トラックが行き交うため、工場などはまとめて工業団地にしてほしい。道路整備、駅前に商業施設やコミュニティなどの老若男女問わず集える場所。古賀日曜市など興味あります。

アイデア開示からアップデート。更にアイデア募集からアップデート。

- ・古賀駅周辺の雰囲気が暗くて雰囲気に活気がない
- ・せっかく海があるので福津のように人が集まりやすい空間を作って欲しい
- ・自然があってアクセスもいいのに、人に勧めたいと思える場所がない

総じて、少し廃れたような暗い雰囲気を感じるなのでそこを改善すべきかと思います。

自治会活動の改善を求めたいです。理由は以下の通りです。

(A.現状の問題)

- 1.隣組会費が高い
- 2.転入者の加入がない。以前は転入者の情報が組長へ開示され、入会の勧誘ができたが、現在はできない。(仮に勧誘した場合に、先方から入会のメリットを聞かれても、答えられない。)
- 3.今のままでは加入者がいなくなる。残された者への会費・活動の負担が重くなる。古賀市としても委嘱先が無くなり、困るのではないのでしょうか？
- 4.高齢者の割合が多く、低年齢層の活動負担が重い
- 5.職務の都合により、行政隣組組長の持ち回り辞退の相談を高齢者の方にしたが、「町を歩けなくなるよ。」「お前は共産主義者か。」など、脅かしや差別を受けた。
- 6.正直、若年層には入会の意味がなく、退会したいが上記のように差別される可能性があるためにできない。
- 7.組長・区長など負担が重く、誰も担当したがってなく、嫌々ながら担当している。
- 8.平成30年に転入したが、このような状況では住み続けたいとは思えない。正直、可能なら引越しを検討したいぐらい。

(B.課題)

1.今のうちに、行政区長・隣組組長の制度を、少子高齢化・人口減少の時代にあった内容に更新をお願いしたい。

2.参考に以下の様な事例があります。

古賀市行政区長等に関する規則 第3条 委嘱事務の内容について

「第3条(1) 市政に関する文書等の回覧及び掲示に関すること。」について。回覧物を自治会を通して配布する必要があるのでしょうか？業者委託のポスティングに切り替えた自治体がある。

「(3) 道路環境美化、不燃物等分別収集及びまちの環境美化に関すること。」について

自治会の活動の周知

古賀市に住んで25年経ちました。以前は子供会、育成会の活動が盛んで親子共楽しい時間を過ごしていましたが、現在は少子化、子どもの習らいごと、母親の仕事等で子ども会活動もなくなり、公園で遊ぶ子も少なくなったと感じます。今の子どもたちのコミュニケーション不足による将来が心配なので、気軽に誰でも参加できる活動や行事を地域別ではなく古賀市全体のイベントとして、もっとしてほしいと思います。

月1回の分別収集は各自治会で運営され、隣組加入者がボランティアで実施している。本来ゴミの収集は、行政機関が主体的に行うべきではないか。隣組加入者へ頼り過ぎではないか。隣組未加入者は分別対象のゴミ処分はどうしたらいいのか？ゴミを出したらフリーライドになるのだろうか。

R6.3月末に開催された隣組総会に出席したときに、隣組未加入者は月1度の分別収集にゴミを出せないと言われた。市民はこのように認識しているようだ。今どき、隣組に加入しないと分別ゴミを出せないような自治体に転入者は増えるのか疑問である。

「(4)防犯及び防災に関すること。」 組長会で地域の防災計画作成するように求められていると聞いた。組長・区長など負担が重く、誰も担当したがってなく、嫌々担当している状況で良い成果が得られるだろうか？また、防災計画作成を自治会に依頼して良いのだろうか？依頼する根拠の説明・作成者への報酬は十分であろうか？自治会へ頼り過ぎではないでしょうか？

- ・意見表明する窓口の明確化
- ・千鳥駅前広場の工事が遅いのはなぜか？説明不足（看板等でレイアウト工期示すべき）

テレビで古賀市には「何もない」と答えてる市民が多くいた。  
もっと古賀をPRする催しや商業関係の協賛活動をしたら良いと思う。

あいさつをする。

- ・近くのコンビニに行くさい、歩道がない。
- ・雑草で歩きにくい。

1. 古賀市または校区ごとに市民一人ひとりがどうあるかを明確にする。  
福岡一になる為に、1日に何をするのか、絶対守るルールは何か、など例（小野：古家活用 青柳：歴史 古賀東：ゴミ0 古賀西：海水浴 花鶴：健康（予防）食 千鳥：健康（予防）運動 花見：SNS 舞の里：教育） 例 何に日本一を目指すのか？ 一点に集中して、市民が主体的になれるコンパクト校区（校区性）を作る行動をする。市民が自信を持って答えられる理念を明確にして、コミットしてもらう。

2. 上記を達成するためリーダーを育成するためのリーダーメーカーを増やす。  
主体的で利他的、相乗効果を発揮させる人材を育てる⇒各世代に必要  
古賀市は地理的にも時制的にも機会も多く存在していると思います。まずは古賀市役所の方が、福岡一九州一日本一の自治体を目指す事が一番だと思います。どこよりも主体的で明るく、市民のために時間を使い、成功に喜びを感じる豊さマインドの職員で満たすことがまちづくりを進めるための近道だと思います。古賀市を日本一の誇れる市にしましょう。

- ・回覧板が紙の為情報が遅い。
- ・SNSの活用 各自治体毎の情報発信又はアクセスにて情報収集
- ・総会資料のペーパーレス化 委任状のオンライン化

<p>今年の年初、10年ぶりに古賀へ帰ってきました。10年前より、子育て支援が充実していて（子育てはもう終わっていますが）良かったなあと思いました。私はまもなく還暦です。我々世代は”何かしたい、人の役に立ちたい”との思いはあれど、何から手をつけてよいのか？自分に何ができるのか？と思うことが多いと感じます。福岡市の様に壮年世代、シニア世代向けの講座等、市役所が音頭を取って開設して頂きたいです。</p>
<p>活動の体験談をくわしく、確認しやすいかたちでみられるようにしてもらえるとどのような活動をしているかがわかりやすく、興味を持ちやすくなると思います。</p>
<p>古賀市にある企業などに協力を求め、担当者を出してもらって、青年部的なものを作るのはどうでしょうか？</p> <p>市にとっても企業にとっても情報共有になるし、人も集まるし、コミュニケーションの枠も広がり、色々なアイデアが集まると思います。</p>
<p>業務を押し付けられていると感じている住民も多くいます。</p> <p>具体的なアイデアはわかりませんが、「行わなければならない」という意識から、「必要だから自ら進んで行う」という意識に住民が変わるキッカケがあればいいと思う。子どもの頃からの環境が大切と思う、大人の意識を変えることは難しい。</p>
<p>つれあいの意見です。（60代）車を運転しなくなって思うこと。もっと町かどにベンチを置いてほしい。バス停にベンチがない。（商店や医院の広告を兼ねて、設置してはどうか、市がいくらかでも補助して）公民館の前などにあれば、知らない人とも雑談しやすい。古賀市は〇〇な町！！という特色をアピールしてほしい。笑顔で声をかけあうやさしい町に</p>
<p>市政だより等行政機関からの通知、案内や各自治会における、回覧板は早急にWeb配信等にして、ペーパーレス化を推進。勿論、希望者のみです。私の近所の様子では5～6割の家庭が希望すると思います。先日、古賀市における観光振興のための意見等の募集がありましたが、多くの観光地ではFreeWiFiが整備されていますが当市の実情は悲惨ですね。市内全域での設置は無理としても公共施設と観光地になりそうな地域整備が必要。それと公民館にもLANとFreeWiFiがあると自治会活動、勉強会などで使えて非常に役立つと思う。</p>
<p>情報を広めるためにアプリにわかりやすくアップする。</p> <p>古賀市のラインをもっと活用する。</p> <p>地域住民参加型の企画を多くする。（例えば防災訓練やまちおこしのイベントなど）子育て家庭には参加すればおしりふきやオムツプレゼントするなどで参加者を増やす。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市には観光スポットがあまり無い印象がある。→今ある自然を活かした観光地をPRする。</li> <li>・近所で老人が孤独死していた（数年前）高齢者の社会的孤立を防ぐための取り組み（見守りネットワーク）等の強化をしてほしい。</li> </ul>
<p>若者の街、新しい町を目標に古くさい考えは捨て古賀駅周辺に人を呼び込める若者の町に変えてほしい</p>
<p>市内に市民参加の農場をつくること（参加は臨時参加でも良いとすることが大事です）</p> <p>※将来、必ず食糧危機が来ます。その時に備えるためにも！</p>
<p>自治会などにおける地元の方たちの被差別意識が根強く啓発活動などを活発にされて、逆に嫌な気持ちにある。誰も差別していないのにずっと責められている気分。彼らの子供達がかわいそう。</p>

よくわかりませんが年齢的にも自分のことで精一杯です。ただ若い家族が（世帯）増えて誰から見ても住みやすい、子育てしやすい安全な市になってほしいです。
今のまちづくり基本条例は飾り。住民主体のもの、例えば住民投票とか盛り込むべき。市長の言いなりではなく市民意見が大事じゃないの？！
今日NHKで観たのですが、（6/24朝放送分のNHK総合）朝ドラ前の大分の小学校で「アンガーマネジメント」の出前授業を行ったそうです。古賀市は発達障害児童への取り組みも頑張っているのは承知しています。現在、感情のコントロールが難しい時代です。小学校からこういう教育は良いなと思いました。古賀市の特産品を活かしたものは増えましたがあちこちにあり、アクセスしにくいです。いっそのことちゃんとしたアンテナショップを作り、そこから発信、経済、地産地消をしていくのも地域交流、見守りになりやすいかと思いました。
今後の自治会の在り方を考える時期に来ていると感じる。自治会に加入しない人が増加し、高齢者の負担が増加していると強く感じる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供ばかり医療費無料などしているが、高齢者や障害者に対しても、対策を考えて欲しい。</li> <li>・のり一との降車、乗降場所を増やし、座席の座り心地を良くして欲しい。前かがみになり、腰が痛くなる。（郊外⇄郊内の意味が分からない）アプリが使い辛い。</li> <li>・西鉄バスの博多行きを作って欲しい。JRでは、具合が悪くなるので。</li> <li>・買い物をする所が、遠く、ネットで頼んでいるが、魚が買えず、タクシーを使って行かないといけない。（ネットでは価格が高い）</li> </ul>
シニア世代の活用 企業・事業所の支援協力 財政面、人的面
古賀駅付近の発展する為の対策を考えてほしいです。
自治体のよさが感じられず、周囲はどんどんやめていっている。また辞めてもデメリットなどもないので、入っている良さを感じられず、お金だけ払っているようす。時期がきたらやめるかもしれないと思っている。メリットをもっとうちだしてほしい。
商店街が古い印象にあるので、活気のある場所になれば良いなと思います。隣の新宮町、福津市が発展しているので、古賀市も古賀の良さを残しつつ、市民だけでなく周りの人からも魅力が感じられる街にもっとなっていけば良いな、と思います。
パブコメは古賀市HPやこがんとで募集されているが、HPはわざわざ「パブコメ募集してるかな」と確認するわけにはいかないし、こがんとは情報が多すぎて読み流してしまう。学校（保育園）の安全安心メールで配信すれば、子育て世代の目にはとまりやすい。
高齢者に向けての周知は町内放送？回覧板？子育て世代のような高齢者が使用しているツールを活用しては？
新しいことをやるのは良いと思いますが、極端な話、例えばサンリブはものすごくさびれています。あの場をコミュニティの場、産直市場のようなスペースに使えないのか？「るるるる」は若い世代には魅力的ですが、まわりとの温度差は否めません。私もプレオープンを含めて1度しか行っていません。（インスタ登録済）「るるるる」にしても、インスタ以外のSNSが必要かと・・・シェアできないのです。
町に比べたら田舎（山）の方は道路（特に通学路）に対して全然改善されていない！！
子供たちが自由に遊べる公園がない。何か所かあるけど遊具、自転車ものれる所を作ってください！！
そして、子育て共働している家庭に対して力を入れてください！！

<p>1. 自治会で要望や人材を推薦する仕組みを充実させること。</p> <p>2. 回覧板で人材を募集すること。</p> <p>3. 企業にも要望や意見を求め官民一体となって補いながら進めていくこと。</p> <p>4. 町づくりセンターを創設し、住民主体の町づくりを企画運営する。</p> <p>5. 関心のある人々にメルアド登録を募り、意見を求めていくこと。</p> <p>※平凡な回答で申し訳ありません。</p>
<p>まずは駅前の整備、古賀に引っ越して30年、何も変わらない。新宮や福津は発展してるのに、古賀はさびれているだけ。とても市とは思えない。</p> <p>古賀駅前と3号線までの道路整備とシャッター街を何とかしてほしい。</p> <p>スポーツ施設の予約、管理等をスムーズ（WEB等）にしてほしい。</p>
<p>行政による大規模な開発による宅地造成の早期実施により子育て世代の人口増加や定住をおこなうことで高齢化をふせぐ事ができると思います。周辺市に遅れを感じる部分ですので・・・</p>
<p>自治会に加入し、役員なども順番でまかされたりするか、加入していない人も多くいるため、非常に不平等感を感じる。また多くの加入者の方々もしかたなし役員などしているため形ばかりの自治会になっていることを強く感じる。新しい別の方法を検討する必要がある。とにかく不平等感を感じる。未来のまちづくりのためには、子どもたちへの教育が最重要と思う。AIやDXなどで変化が大きく起こりそうな世の中が来ることが予測される中、答えのない問題にとりくめる力を子どもたちがつけていかなければいけないと思う。そのような状況の中、夏休みはたったの3週間、しかも宿題ばかり。これでは、自分自身で新しいことにチャレンジしたり、答えのない問題にとりくみ解決していける力はないのではないか、目先のこと（カリキュラム）ばかり考えず、本質的な教育を考えないといけないのではないか？いったいどこに向かっているのか？しっかり考えたほうがよいと思う。</p>
<p>一部の人が理解し、活動している様に感じる。心ひかれる、参加したくなるポスター等を提示する。アンケートが届いたことで改めてネットで調べ少しですが勉強できました。住みよい町になることを願っています。</p>
<p>市役所は365日シフト制の勤務にすべき。土日勤務の市民が昔に比べ増えている。古賀市はその実態に気づきながら気づいてないふりをしている。古賀市だけではなく、地方公務員の意識改革が進まなければ終わりです。</p>
<p>古賀市の現況は農村とベッドタウンの共存でしかない。古賀市について問われた時答えるべき、アピールできるべき回答が見当たらない。</p> <p>何か古賀市のアピールポイントを創成すべき。</p>
<p>例えば、BOAT KIDS PARK MOOOVi芦屋のような赤ちゃんが遊べる施設を誘致すれば古賀に住みたいと思う家族が増え、人口増加に伴って、市民参画や共働する人達が割合上ふえると思います。</p>
<p>古賀駅周辺の整備等について、住民と話し合うとか何らかのアイデアを募集するとか子供達に考えさせる等の活動があったらいいと思う。同和問題について30年前からいろいろ活動はしている様ですが、今も同じ様なことしかできてない。</p>
<p>旧態以前とした隣組制度の廃止</p> <p>同制度にかかる予算を学校教育、特に部活動に配分して教職員の負担軽減と地域の子供たちのスポーツを続ける、始める機会を確保する</p>

<p>市民参画や共働という意味では、市は町内会を中心とした自治会に運営を任せている。であれば、定期的に自治会の会議に出席して、市民の”何でも良い”意見を聞くことも一つのアイデアではないか？</p> <p>※どうしようもないコメントもあるかもしれないが我慢して聞き、良いものがあれば吸い上げてはどうですか？</p>
<p>青柳地区は緑が多く良い環境ではあるものの、子育て世代には買い物に困る。年配の方も車やバスがないと不便。緑と共存するのは良いが利便性も考慮してよいのでは？世代の考え方に偏りがあり、話し合いも出来てない。</p>
<p>古賀市へこしてきて3年ほどになります。今回のアンケートをみて「市民参画」というものを知りました。インターネットなどでも、情報を知ることができればと思いました。</p>
<p>小学校の安心・安全メールに登録しているので、古賀市からのお知らせを前より確認できるようになり、いろいろな催しをしたり、計画したりされているのだなと思っていたところでした。この情報がたくさんの方々に届くように古賀市の公式アカウントをもっと大々的に売ってもよいのではと感じました。</p>
<p>自分はまだ若いため、市民参画やまちづくりに積極的に関わろうという気が起きず、まだそんな年齢じゃないよなという思いがある。若者など、ターゲットになる年齢層をしぼって、取り組みを行うことで私のような人の関心を集めることができるのではないかと思った。これからも応援しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・色んな事に取り組む</li> <li>・一つのアイデアでは解決は難しい。</li> </ul>
<p>元西鉄線路跡地が物騒だと思う。そこを上手く活用できると良さそう。（ただ横は防風林だから宅地化するのは難しそうですが・・・）福津側に行くと、太陽光パネルを設置してあるから、同じように太陽光パネル・・・</p> <p>市民花壇や個人に土地を貸し、家庭菜園とかをしてもいい畑を造るなど、1畳～2畳の家庭菜園を貸し出し。9時～17時位まで開放している公園（小さい子供が遊べる区画と、スケートボードなどができる専用区画と分かれた公園とか）</p>
<p>前頁「共働」とはに「対等の立場」でとあります。</p> <p>5月実施の「春季道路環境美化」を例にします。草・木の葉、枝の集積に来る車はダンプカーで地域住民が積み込む（大変）老人多数。積み込む時は袋から出さなければならない。ドライバーに対するお願いもお伺いを立てる要あり。松林の清掃ボランティアが出す専用の袋は、袋のまま塵芥車が収集しますが、最終処分方法が違うのか？それは何故なのか？地域住民に求めることはするが、それに対する感謝の気持ちが無いと感じる。やって当たり前、やらせてる感でいっぱいと感じる。つまり行政に愛を感じない、血が通っていないと思う。住民に対するリスペクト（敬意）が希薄であると感じる。個々の職員では無く、組織としての古賀市がです。年々地域活動に参加することに苦痛を感じています。この件ぜひ塵芥車で対応をお願いします。他にも多々あります。</p>
<p>ホームページなどの活用も必要ですが使いこなせる人ばかりではありません。もっとアナログ、例えば宣伝カーやテレビラジオのマスメディア放送アナウンスなどハイテクも良いですが旧式と思われるがすべてに足りてないと思う。</p>
<p>休耕田活用するため市民参画での田植えをし、休耕田を減らすと良いのではないかと思う。</p>
<p>特にありません</p>

# 古賀市まちづくり基本条例に関するアンケート

まちづくり推進課

## ■調査の目的

日頃から、住みよいまちづくりにご協力いただき、ありがとうございます。

「古賀市まちづくり基本条例」では、社会情勢や市民意識の変化等に対応し、適正な条例運用を図るために、4年を超えない期間ごとに、検証をすることと定めています。

このアンケート調査は、広く市民のみなさまへ、本条例に規定する、市民参画や共働、市の取組状況等についてお尋ねし、検証資料とすることを目的に実施しており、無作為に選出した市民 1,000 人の方へお送りさせていただいています。

お答えいただいた結果は、すべて統計的に処理し、条例の検証についてのみ活用いたしますので、あなた様の回答が外部に漏れることはありません。

ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、アンケートにご協力をお願いします。

回答は、**Webからのご回答**もしくはアンケート用紙にご記入の上返信用封筒にてご回答ください。

なお、事務処理の都合上、ご回答期限を設けさせていただきました。恐れ入りますが、期限までに、ご回答または、ご返送いただきますようお願いいたします。

「古賀市まちづくり基本条例（平成29年4月1日施行）」とは

少子高齢化や地方分権社会の進展などにより、私たちを取り巻く環境は急速に変化する中であって、心豊かな子どもたちが育つ、安全で安心して暮らせるまちをつくり、未来に残していくために、人や地域の結びつきを強め、信頼関係を構築し、協力し合いながら、古賀市が「これからもずっと住み続けたいと誇れるまち」となるように制定しました。

この条例には、「情報共有・市民参画・共働」の原則や市民・議会・行政の役割や責務を明らかにし、本市における「まちづくり」に関する基本的な考え方を定めています。

※市民参画・・・行政が実施する事業企画、実施・評価等について、計画や決定の段階から直接関与すること。

※共働・・・市民や市、団体等がお互いに対等な立場で、相互に補完し合い活動すること。



## 回答期限：7月22日（月）



[QWeb アンケート]

\*\*\*記入上のお願い\*\*\*

- 1) 各質問の回答は、原則として該当する番号に○を付けてください。  
※直接ご記入頂く設問もございます。
- 2) ご回答のうち、「その他」や「理由」については、( ) の中に具体的に内容をご記入ください。
- 3) 設問は、【問1】から【問17】までで、質問は全部で24問あります。
- 4) このアンケートについてのお問い合わせは下記までお願いします。



お問い合わせ先

〒811-3192 古賀市駅東 1-1-1

古賀市役所まちづくり推進課 担当：力丸、村上

TEL092-942-1165



問1. あなたの年齢とお住いの小学校区についてお尋ねします。

(1) ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

(2) ①小野小学校区 ②青柳小学校区 ③古賀東小学校区 ④古賀西小学校区  
⑤花鶴小学校区 ⑥千鳥小学校区 ⑦花見小学校区 ⑧舞の里小学校区

問2. あなたは古賀市のまちづくりに関心がありますか。

①かなりある ②ある ③どちらでもない ④あまりない ⑤ない

問3. あなたはまちづくりに積極的に参加したいと思えますか。

①かなり思う ②思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤思わない

問4. 「古賀市まちづくり基本条例」を知っていますか。

①内容をよく知っている ②読んだことがある ③名前だけ知っている

④知らない

(1) 「①よく知っている、②ある程度知っている」と回答した方にお尋ねします。  
「古賀市まちづくり基本条例」をどのように知りましたか。(複数回答可)

①広報「こがんと」 ②ホームページ ③チラシ・パンフレット ④出前講座

⑤担当課窓口 ⑥その他 ( )

(2) あなたは「古賀市まちづくり基本条例」の内容が理解できましたか。

①よく理解できた ②理解できた ③どちらでもない ④あまり理解できない

⑤全く理解できない

(3) 「古賀市まちづくり基本条例」に興味・関心を持てる部分はありましたか。  
ある場合はその内容を記入してください

①ある ( ) ②ない ③わからない

問5. あなたは市から市民への情報提供が十分に行われていると思いますか。

①かなり思う ②思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤思わない

問6. あなたは市民参画及び共働によるまちづくりが十分に行われていると思いますか。  
(「市民参画」「共働」の内容について右上に説明を記載しておりますので、  
ご覧ください。)

①かなり思う ②思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤思わない

「市民参画」とは、市が行う重要な施策や事業の企画や実施において、意見や提案等を通して直接関与することです。古賀市では、下記の主な手法を通して市民参画を行っています。

- ・パブリックコメント
- ・出前講座
- ・各種委員会や審議会
- ・各種アンケート
- ・市民ワークショップ
- ・住民説明会
- ・計画の縦覧

※パブリックコメント：計画や条例案等について、市民に意見を求め取り入れながら政策決定する方法。

※ワークショップ：参加者の主体性を重視した体験型の講座、グループ学習などを指します。

「共働」とは、市民、議会、行政、市民活動団体などあらゆる主体が、お互いの責任と役割を自覚し、共通の目標に向かって、対等の立場で様々な社会的課題の解決に当たることです。

**問7. あなたはまちづくりに市民の意見が十分に反映されていると思いますか。**

- ①かなり思う ②思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤思わない

**問8. あなたは市民参画の機会が十分に用意されていると思いますか。**

- ①かなり思う ②思う ③どちらでもない ④あまり思わない ⑤思わない

**問9. あなたはまちづくりへの市民参画に参加したことはありますか。**

(「①ある」の場合は(1)、「②ない、③わからない」の場合は問10へ進んでください)

- ①ある ②ない ③わからない

**(1) あなたが参加したことがある市民参画の方法はなんですか。(複数回答可)**

- ①パブリックコメント ②出前講座 ③各種委員会や審議会 ④各種アンケート  
⑤市民ワークショップ ⑥住民説明会やシンポジウム ⑦計画の縦覧  
⑧その他( )

※④のアンケートには、今記入いただいている、このアンケートは含みません。

**問10. あなたが市民参画をするのに重要だと思うことはなんですか。**

(上位3つを選んでください。)

- ①問題・課題への関心 ②制度の情報周知 ③参画する機会の日時・曜日  
④制度の分かりやすさ ⑤提案した意見の結果の反映 ⑥その他( )

**問11. あなたは地域活動や共働による取組に参加したことがありますか。**

- ①ある ②ない ③わからない

**問12. あなたは現在、「自治会」に加入していますか。**

- ①加入している ②加入していない ③わからない

**(1) 「②加入していない」と答えた方に、その理由をお尋ねします。(複数回答可)**

- ①意義が見いだせない ②自治会費が負担になる ③役職につくのが負担になる  
④近所付き合いが苦手 ⑤不快な経験をした ⑥その他( )

問13. あなたは現在、「ボランティア活動・市民活動団体」に関わっていますか。

- ①関わっている ②関わっていない ③わからない

(1)「①関わっている」と答えた方に、その理由をお尋ねします。(複数回答可)

- ①自分の経験等を活かすため ②友人・仲間をつくるため ③有意義に過ごすため  
④住みよいまちにするため ⑤社会貢献のため ⑥興味関心があるため  
⑦その他( )

問14. あなたが今後重要になると思う「共働・市民参画」の分野はどれですか。  
(上位3つを選んでください)

- ①健康 ②スポーツ ③環境 ④都市基盤 ⑤生活安全 ⑥農業 ⑦商工業  
⑧観光 ⑨防災 ⑩地域福祉 ⑪生涯学習 ⑫文化・芸術 ⑬子育て  
⑭学校教育 ⑮自治会・コミュニティ ⑯多文化共生 ⑰その他( )

問15. 現在の古賀市のまちづくりにおいて不足していると思う分野はどれですか。  
(上位3つを選んでください)

- ①健康 ②スポーツ ③環境 ④都市基盤 ⑤生活安全 ⑥農業 ⑦商工業  
⑧観光 ⑨防災 ⑩地域福祉 ⑪生涯学習 ⑫文化・芸術 ⑬子育て  
⑭学校教育 ⑮自治会・コミュニティ ⑯多文化共生 ⑰その他( )

問16. 市民参画や共働のまちづくりを進めるうえで、あなたが問題だと思うことはどれですか。(上位3つを選んでください)

- ①参加する人が少ない ②担い手の不足 ③制度の情報不足・周知不足  
④時間的余裕 ⑤興味・関心の不足 ⑥地域住民の意識  
⑦行政サービスの不足 ⑧その他( )

問17. 市民参画や共働のまちづくりを進めるためのあなたのアイデアを教えてください。  
(自由回答)

自由回答の記入欄(ダッシュ線枠)

★★★設問は以上です。ご協力ありがとうございました。★★★

